

2021年3月期 決算補足資料

2021年5月11日
住友理工株式会社

1. 連結経営成績〔IFRS〕(2020年4月1日～2021年3月31日)

① 連結損益計算書

(単位: 億円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比	
売上高	4,451	3,979	-472	-10.6%
事業利益*	113	79	-34	-30.6%
その他の収益・費用	△24	△76	-52	-
営業利益	89	2	-87	-97.5%
金融収支	△15	△8	+7	-
税引前当期利益	74	△6	-80	-
法人所得税費用	△50	△28	+22	-
当期利益	25	△34	-59	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	9	△50	-59	-
非支配持分	16	15	-1	-4.0%

* 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を含めて算出しております。

② 事業セグメント別業績

(単位: 億円)

		2020年3月期	2021年3月期	前期比	
売上高	自動車用品	3,883	3,442	-441	-11.4%
	一般産業用品	568	537	-31	-5.4%
	連結 計	4,451	3,979	-472	-10.6%
事業利益	自動車用品	94	50	-44	-47.4%
	一般産業用品	19	29	+10	+54.9%
	連結 計	113	79	-34	-30.6%

当連結会計年度より、当社グループにおける業績管理区分の見直しにより、「一般産業用品」に区分していたゴムシール材事業を「自動車用品」に含めております。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、区分変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを開示しております。

③ 所在地セグメント別業績

(単位: 億円)

		2020年3月期	2021年3月期	前期比	
売上高	日本	2,087	1,760	-327	-15.7%
	米州	1,017	801	-216	-21.2%
	アジア	1,349	1,432	+83	+6.1%
	欧州その他	532	461	-71	-13.5%
	消去又は全社	△534	△475	+59	-
	連結 計	4,451	3,979	-472	-10.6%
事業利益	日本	19	△10	-29	-
	米州	1	△41	-42	-
	アジア	105	149	+44	+41.7%
	欧州その他	△4	△13	-9	-
	消去又は全社	△9	△6	+3	-
	連結 計	113	79	-34	-30.6%

各セグメントには、セグメント間取引消去前の数値を表示しております。

④ 為替レート(期中平均)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比	
円/米ドル	108.74	106.07	-2.67	-2.5%
円/ユーロ	120.83	123.71	+2.88	+2.4%
円/人民元	15.60	15.67	+0.07	+0.4%
円/タイバーツ	3.52	3.42	-0.10	-2.8%
円/メキシコペソ	5.61	4.94	-0.67	-11.9%
円/ブラジルレアル	26.53	19.64	-6.89	-26.0%

金額や増減率等の数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

2. 業績の概要

(1) 総括

- 当期の連結業績は、上半期における新型コロナウイルス感染症拡大の影響から前期と比較し、減収となりました。一方、下半期にかけては経済活動の再開や各国の景気刺激策により自動車生産台数が回復基調となった中で、中国を中心とした売上増加や全社一丸での収益改善活動により、事業利益以下では当第3四半期に発表した業績予想を達成しました。
- 当社グループは、低操業下でも黒字を確保できる筋肉質な経営体質への変革に向けて、事業統合・集約や、より一層の原価低減活動等を通じた収益力の強化に努めております。

(2) 事業セグメント別概況

売上高 3,979億円 (前期比10.6%減)

① 自動車用品 3,442億円 (前期比11.4%減)

- 日本、米州、欧州は、下半期の自動車生産台数は回復しましたが、通期では上半期の生産台数減少により、減収。一方、欧州の自動車用ホース拠点においては、欧州メーカーへの拡販により、増収
- アジアは、中国での日系メーカーの生産台数増加による増収が牽引し、アジア全体で増収

② 一般産業用品 537億円 (前期比5.4%減)

- プリンター及び複写機向け機能部品は、新型コロナウイルス感染症拡大や労働環境の多様化による影響から、オフィス向けのプリンター、複写機の需要が減少し、減収
- 高圧ホースは、主に中国でのインフラ投資が引き続き旺盛で、建機の生産台数が増加したため、増収

事業利益 79億円 (前期比30.6%減)

① 自動車用品 50億円 (前期比47.4%減)

- アジアを除く各地域では、上半期における売上減少により、減益
- アジアでは、主に中国での売上増加により、増益

② 一般産業用品 29億円 (前期比54.9%増)

- プリンター及び複写機向け機能部品は、売上減少による影響から減益
- 高圧ホースは、主に中国での売上増加により、増益

3. 連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
2022年3月期予想							
第2四半期累計	2,150	40	38	33	15	5	4.82
通期 (A)	4,450	135	110	100	55	35	33.71
2021年3月期通期実績 (B)	3,979	79	2	△6	△34	△50	△47.74
前期比増減額 (A-B)	+471	+56	+108	+106	+89	+85	+81.45
増減率	+11.8%	+70.9%	55.0倍	-	-	-	-

2022年3月期の経営環境は、各国の経済活動再開や景気刺激策により、自動車生産台数は前期に比べて回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大、半導体供給不足による自動車の減産、原材料価格の高騰等、市場の不透明さは増えています。そのような状況の下、現時点で想定される上記のリスクを踏まえ、業績を予想しております。